

3 就職

(1) 卒業後の進路

問 22. あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

〔1〕現状

「進学」を希望する学生は、全体で23%となっており、前回より増えています。「まだ決めていない」が大きく減り、進路についての意識が高まっています。学部別では、工学部・農学部が4～5割程度で最も多く、教育学部・法学部が2～3割でこれに続いています。経済学部と医学部医学科・看護学科は、1割以下です。

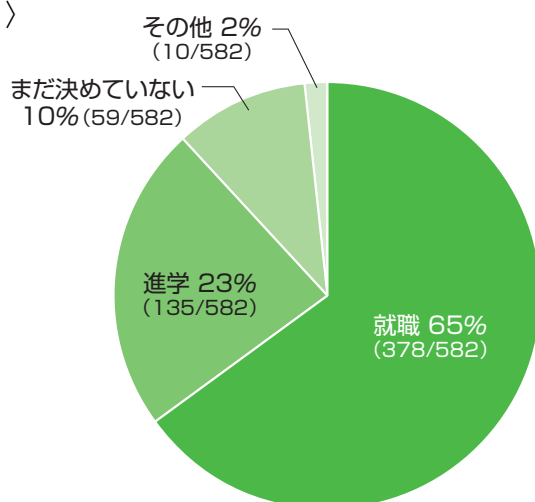
〔2〕課題（問題点）

進学希望が多い学部では、まだ決めていない学生の割合も相対的に高くなっています。迷っているうちに、出遅れる可能性があります。

〔3〕対応

まだ決めていない学生に対し、進学・就職の両面での相談を受ける必要があります。

〈グラフ 22〉



(2) 就職を考え始めた時期

問23. 就職を考え始めたのはいつ頃ですか。

[問22で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

例年、1年前期から就職を考えている学生が多く、5割以上となっています。特に、進学希望の少ない、経済学部や医学部看護学科に顕著です。次に多いのは、3年前期ですが、これは専門科目の履修やゼミへの配属により、意識が高まったものと考えられます。ただし、農学部では、2年後期の方が高く、少し早めに就職について考え始めています。また、医学部医学科では、その他が4割ありますが、これは入学以前から意志を固めていたものと思われる。

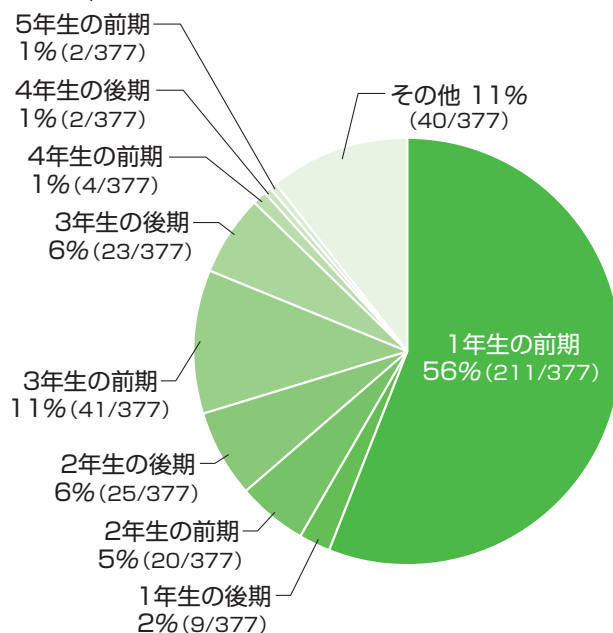
[2] 課題 (問題点)

工学部と医学部看護学科では、3年後期以降を回答した学生が15%以上います。進学との兼ね合いもありますが、やや遅い層が存在します。

[3] 対応

就職を決めかねている学生にも、十分に情報提供を行い、進路の決定の指針となるようにする必要があります。

〈グラフ23〉



(3) 希望する分野

問 24. 希望する分野は何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

各学部の特長分野との相関が顕著です。教育学部では、「教育関係」が6割で、「公務員」と「販売・サービス関係」が多くなっています。法学部では、「公務員」が6割、「商社・金融関係」がこれに続きます。経済学部は、「公務員」、「商社・金融関係」、「販売・サービス関係」と各方面にちらばっています。医学部は、ほとんどが「保健・衛生・医療関係」である。工学部は、「建設・機械関係」と「情報・通信関係」が3割ずつで、「公務員」も多くなっています。農学部は、「食品・化学関係」が6割を占めています。

[2] 課題 (問題点)

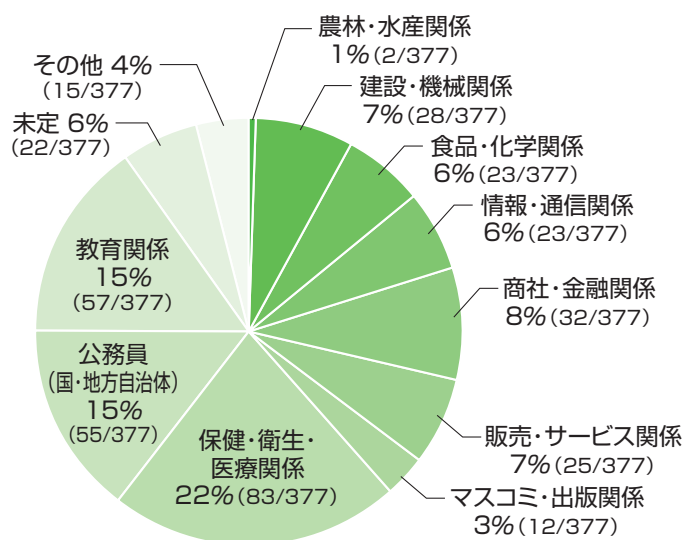
学部の専門性と就職希望の分野に大きなずれが見られないのは、好ましい傾向です。ただし、経済学部に未定の学生が2割います。

[3] 対応

外部講師などを呼んで、各分野の現状への理解を深めさせる必要があります。

また、未定の学生だけでなく、イメージだけで考えている学生に、検討材料を提供する必要があります。

〈グラフ 24〉



(4) 職業選定で重視すること

問 25. 職業を決めるに当たって重視することは何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

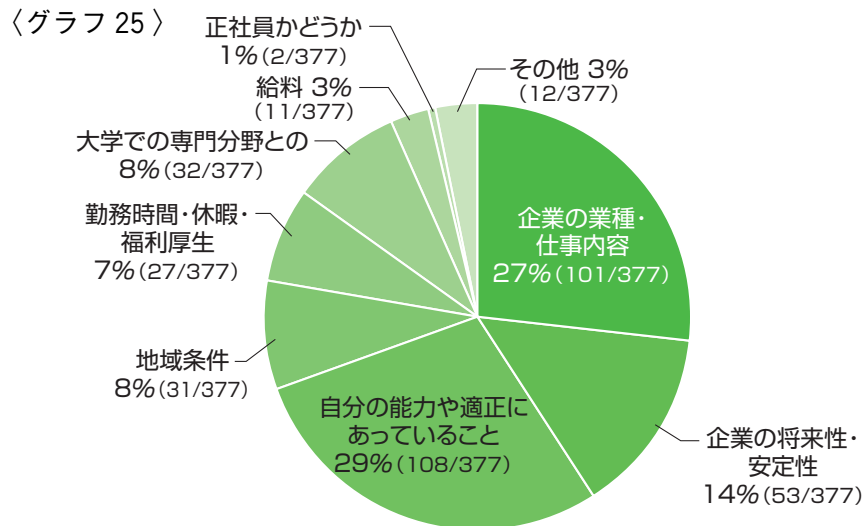
全体として、「企業の業種・仕事内容」と「自分の能力や適性にあっていること」が30%程度ずつを占めています。学部別では、農学部は、「企業の業種・仕事内容」だけで6割と非常に高くなっています。また、法学部と工学部は、「地域条件」が他学部と比べて相対的に高めです。

[2] 課題（問題点）

将来性・安定性が微増なのは、景気や派遣など社会情勢を反映していると思われます。

[3] 対応

就職適性試験（SPIなど）の模試を早い時期に受けさせ、企業の求める適性・能力を意識させる必要があります。



(5) 就職希望地域

問 26. 就職先としてどの地域を希望しますか。次のうちから一つ選んで教えてください。

[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

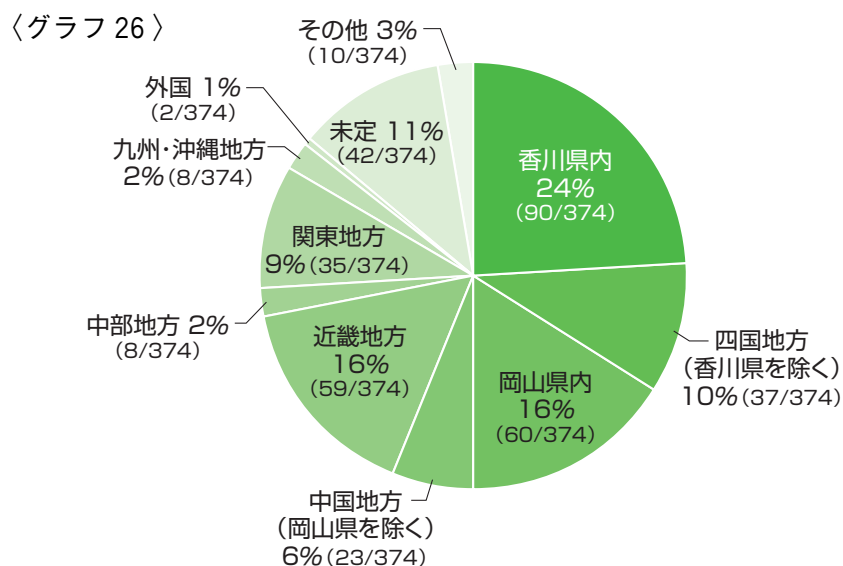
例年通り、香川・岡山を中心とする地元への就職希望が半数程度を占めます。

[2] 課題 (問題点)

説明会や面接など、関東方面での就職活動は、時間的・金銭的に負担に感じているようです。

[3] 対応

地元就職は、保護者の意向も反映されている可能性があり、保護者への就職相談も行った方がよいと思われます。立命館大など私大では、大々的に実施しているようです。OBにも協力を頼み、遠方での就職活動を支援する必要があります。



(6) 就職活動で不安なこと

問 27. 就職活動に関して、不安に思っていることは何ですか。次のうちから一つ選んで答えてください。

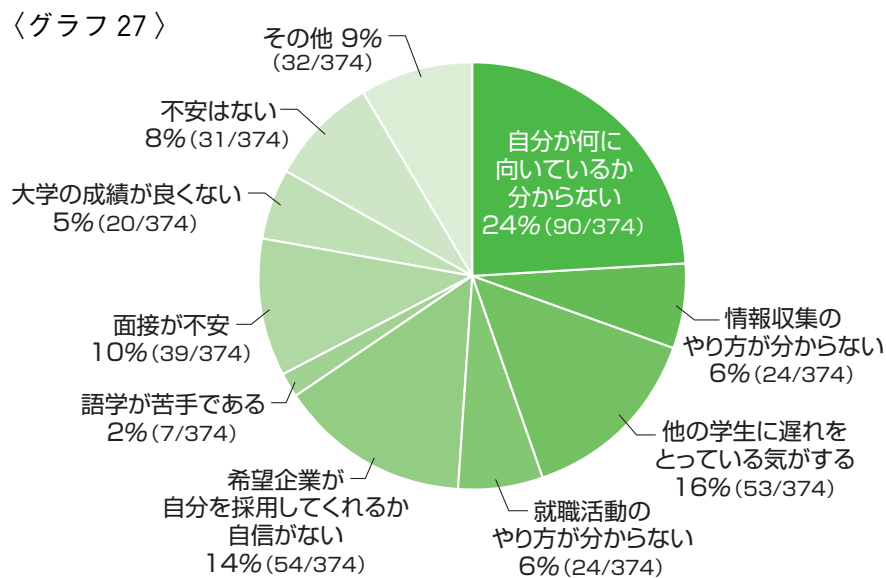
[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

全体として、「自分が何に向いているか分からない」が24%と多く、次いで、「希望企業が自分を採用してくれるか自信がない」と「他の学生に遅れをとっている気がする」が約15%ずつとなっています。ただし、医学部と工学部は、「他の学生に遅れをとっている気がする」が少なくなっています。

[2] 課題 (問題点)

医学部と工学部を除けば、前回より「他の学生に遅れをとっている気がする」という回答がかなり増えています。地方大学ということで、関東・関西での就職活動へのスタートダッシュが遅れることへの不安があります。他大学の学生の動向やインターネットの情報で、そう感じるのではないのでしょうか。また、「面接が不安」も10%あります。



(7) 就職について相談した相手

問 28. 就職について誰に相談しましたか。また、誰に相談するつもりですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

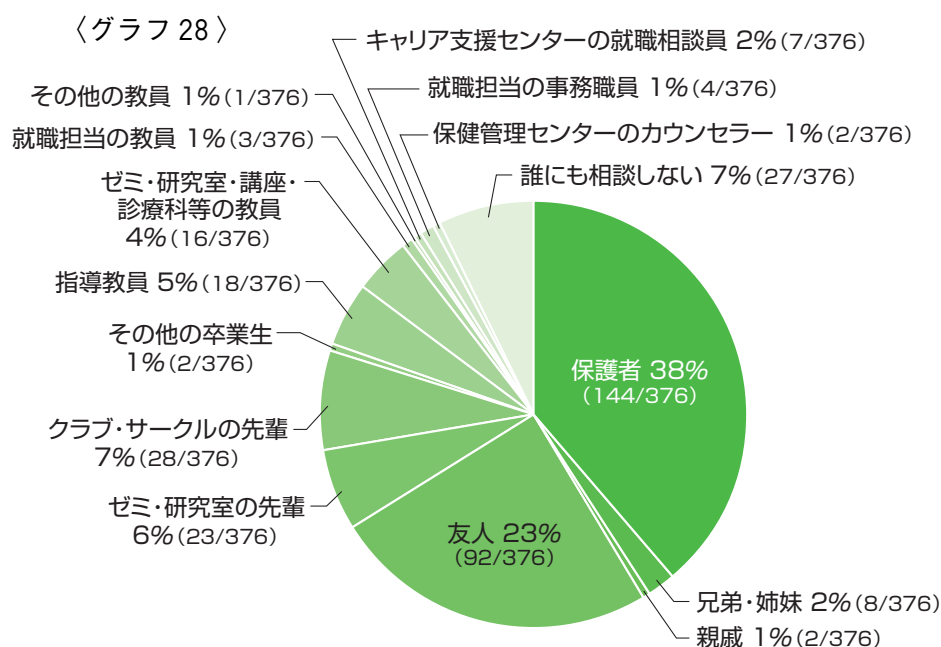
保護者が38%で最も多く、次いで、「友人」、「クラブ・サークルの先輩」、「ゼミ・研究室の先輩」など、他方面にわたっています。

[2] 課題（問題点）

「誰にも相談しない」が1割弱います。

[3] 対応

指導教員やキャリア支援センターなど、大学側への相談を気軽に行えるようにする必要があります。



(8) 就職に関する大学への要望

問 29. 就職に関する大学への要望について、次のうちから一つ選んで答えてください。

[問 22 で「就職」と答えた人のみ回答してください]

[1] 現状

「面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実」と「ガイダンス・セミナー等の充実」が2割ずつで、具体的な指導を要望しています。経済学部、工学部では、特に、「面接対策、履歴書・エントリーシートの書き方の実践指導の充実」の回答が多くなっています。教育学部、法学部では、「公務員・教員試験講座を開くなど各種試験の合格対策」への要望も高く、医学部では、「就職情報誌、就職関係書籍、PC（利用環境）の充実」への要望が高いようです。また、「相談員による就職相談、職業適正検査の充実」は、法学部、医学部看護学科、農学部で高いようです。

[2] 課題（問題点）

企業のコミュニケーション能力の重視に対し、学生側が不安を感じています。相談員による就職相談は、学部によるばらつきがあります。専門分野が明確で自分の能力・適性から就職先を考えるか、どのような就職先があり、それに自分が向いているかどうかを考えるかの相違が影響していると思われます。

[3] 対応

学部ごとに就職支援の重点を変えるべきです。

